教　科　国語　　科　目　論理国語

授業科目	論理国語	単位数	２単位	履修形態	必修　・　選択
履修学年	高校３年　ICT科	コース	全コース		
教科書	論理国語（大修館）		副教材	学習課題ノート（大修館）、ゴイカン	
授業概要	主体的・対話的で深い学びをとおして、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めることができる。				

		単　元	目　　標	教　材
授業内容および到達目標	１学期	自己PR 志望理由書	「志望理由書」「自己PR文」に書くべき内容を学習する。「志望理由書」では将来の目標・動機・過程・志望先とのマッチング、「自己PR文」では長所・理由・長所を得た経緯・将来への抱負について学習し、説得力のある文章を書く。	・志望理由書、自己PR対策テキスト
		日本語を考える	漢字の特色および、過日本語における漢字の働きを知るとともに、漢字を身につける大切さを理解する。（漢字検定で目標の級に合格できるよう、模擬問題に取り組む）	・漢字の性格 ・漢字検定
		自己と他者	筆者の論の展開の特徴を読み取る。	「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ
	２学期	コミュニケーションの手段	対比的な概念を的確にとらえ、筆者の主張をつかむ。 コミュニケーションの手段とその特徴について考えを深める。	・記号的メディアと物理的メディア
		メディアの変容	具体例と筆者の主張との関係を的確にとらえる。	消費されるスポーツ
		言語の探究	根拠に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 日本語の特徴について考え、言葉に対する理解を深める。	・人を指す言葉―自称詞・対称詞・他称詞
		政治と社会	筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。	・多数決を疑う
	３学期	環境へのまなざし	概念の定義を押さえ、筆者の問題意識をとらえる。 現代社会が直面する様々な課題を意識し、問いを深める。	・リスク社会としての現代
		歴史と時間	具体例と分析・考察との関係をとらえる。 文化の特徴と時間認識について考える。	・日本文化の三つの時間

教　科　国語　　科　目　文学国語

授業科目	文学国語	単位数	２単位	履修形態	必修　・　選択
履修学年	高校３年　ICT科	コース	全コース		
教科書	新編文学国語（大修館）		副教材	文学国語学習課題ノート（大修館）	
授業概要	豊かな想像力を駆使して創り出された文学作品から、多彩な読み方を学ぶ。また、自分とは異なる多様な考えと出会い、多くの作品に触れて、文学の楽しさを発見する。				

		単　元	目　　標	教　材
授業内容 および 到達目標	１ 学 期	明日をひらく	・具体例をもとに、筆者のメッセージを読み取る。 ・文体の特徴や表現に注目し、その効果を考える。 ・筆者の家族観や心情の機微を読み取る。 ・文体の特徴や比喩について考える。	飛ぶことを知っている魂
		日本語を考える	・漢字の特色および、過日本語における漢字の働きを知るとともに、漢字を身につける大切さを理解する。（漢字検定で目標の級に合格できるよう、模擬問題に取り組む）	漢字の性格 漢字検定
		表現を味わう	・さまざま種類や文体の文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	少なくとも最後まで歩かなかった
	２ 学 期	名作を読む	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・優れた表現に触れ、読み味わう。	こころ
		小説を楽しむ	・登場人物の視点や表現の特色に注目し、その働きを意識しながら読む。 ・登場人物の考え方をとらえ、自分の考えと比較しながら自分の考えを広げる。	待合室
		古典の世界	・作品に表れている作者の感性や考え方をとらえる。	はしたなきもの 手のわろき人
	３ 学 期	文化を感じる	・筆者の考える夏の月の良さをとらえる。 ・引用された作品を読み、解釈を深める。 ・筆者の考える、単価が人を感動させるための方法を読み取る。 ・引用された作品を読み、筆者の主張を確かめる。	夏の月

令和8年度歴史総合ｼﾗﾊﾞｽ

教科　社会　単位数 2
科目　歴史総合　学級 高校３年ICT科、高校2年普通科
教科書 山川出版　歴総704『歴史総合』

月	単元	学習目標
4月	世界のつながり	おもに18世紀以降の時代を扱う歴史総合だが、ここでは、それ以前の時代の、世界のつながりの概観を確認し、その後の学習につなげる。生徒の実態にあわせ、中学校までの学習を補完したり、世界の状況を把握・理解したりするために活用する。
5月	歴史の扉	①身近な事柄が、時間的な推移や空間的な結びつきのなかで歴史と結びつきをもっていることを理解する。 ②私たちの生活に関わる制度や習慣について分析する際に、歴史的に構築されていることをふまえることが大切であることを理解する。
		①資料にもとづいて歴史が叙述されていることを理解する。 ②資料の性格をふまえ批判的に読みとることについて理解する。
6月	第Ⅰ部　近代化と私たち	「交通と貿易」「産業と人口」「権利意識と政治参加、国民の義務」「学校教育」「労働と家族」「移民」についての諸資料を活用して、情報を読みとったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会のあり方が近代化にともない変化したことについて考察するための問いを表現する。
7月	第1章 結びつく世界と日本の開国	①日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などをもとに、立憲体制と国民国家の形成について理解する。 ②国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを考察する。
9月	第2章 国民国家と明治維新	①日清戦争後の欧米列強や日本の勢力拡大に対する、清や朝鮮の政府や民衆の動向について理解する。 ②日露戦争後の日本の動向、および韓国の植民地化など東アジアをめぐる国際関係の変容について理解する。 ③日露戦争後、辛亥革命に至る中国の民族運動と近代化の動向について理解する。
	近代化と現代的な諸課題	近代化の歴史に存在した「開発・保全」「対立・協調」「自由・制限」に関わる課題について諸資料を活用して考察し、それらが現代的な諸課題の形成にどのように関わっているのかについて理解する。
10月	第３章　総力戦と社会運動	国際秩序の変化や大衆化の歴史に存在した「対立・協調」「統合・分化」「平等・格差」に関わる課題について諸資料を活用して考察し、それらが現代的な諸課題の形成にどのように関わっているのかを理解する。
	第４章　経済危機と第二次世界大戦	①東西両陣営の社会がどのように変容したのかを、アメリカ合衆国と西ヨーロッパ諸国の関係およびソ連の東ヨーロッパ諸国に対する影響力などを通じて理解する。 ②1960年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのかについて理解する。
11月		①米・ソを中心とする宇宙開発競争や核軍拡の展開について、キューバ危機と部分的核実験禁止条約を事例として理解する。 ②反核・平和運動の始まりと展開について、日本の事例を中心に考察する。 ③デタント政策の展開と影響について理解する。 ④核拡散防止条約の背景と展開、および原子力発電所事故などの事例について考察する。 ⑤デタントが崩壊する過程について理解する。
		①西ヨーロッパ統合の背景と歴史的な過程について理解する。 ②東南アジアにおける連携と、ASEANの性格の変化について理解する。 ③アラブ・アフリカ・南北アメリカにおける連携の特徴について理解する。
12月		①第三世界がアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの社会をどのようにみていたのかについて理解する。 ②計画経済の特徴とその影響について理解する。 ③1960年代以降に明らかとなるソ連の不安定化について理解する。 ④中華人民共和国における社会主義体制の形成と大躍進運動について理解する。 ⑤プロレタリア文化大革命の展開と特徴について理解する。
1月		①日本の高度経済成長の要因について、世界経済や日本の社会構造、および政治との関わりから理解する。 ②保守政権が経済成長を重視するようになった経緯や結果、および人々のとらえ方について理解する。 ③日本の高度経済成長による生活や社会の変容について、新たに生じた課題などを理解する。
		①東アジア・東南アジアの国々との戦後処理や、国交正常化の経緯や影響について理解する。 ②日本と東アジア諸国の関係や沖縄をめぐる課題が、アメリカ合衆国の東アジア政策の変化と関わりをもって展開したことを、資料から理解する。
		①ドル＝ショックの背景と内容、および影響について理解する。 ②オイル＝ショックの背景と影響について理解する。 ③大きな政府路線の行き詰まりについて理解する。 ④日本における高度経済成長の終焉について理解する。 ⑤日本の安定成長と経済摩擦の展開について理解する。
2月		①アジアNIESとASEANの成長と展開について理解する。 ②東南アジアの開発独裁の実態について理解する。 ③インドの政治と社会について理解する。 ④西アジア諸国と石油および資源ナショナリズムの展開について理解する。
		①新自由主義の特徴について、イギリスや日本の事例から理解する。 ②プラザ合意以後の貿易自由化の展開について理解する。 ③20世紀後半の環境問題について理解する。
	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	①マイクロエレクトロニクス（ME）産業や情報技術（IT）革命とも呼ばれる情報通信技術の発展により、21 世紀には高度情報化社会・知識基盤社会が到来したことを理解する。 ②高度情報社会が新たな課題を生み出し、従来の社会のあり方が変容をせまられていることを理解する。 ③現代的諸課題の形成や課題解決について歴史的経緯をもとに考察する。
		①ソ連の改革と冷戦の終結について理解する。 ②東ヨーロッパにおける社会主義体制の解体について理解する。 ③ソ連の崩壊とロシア共和国の状況について理解する。
		①中国で改革・開放路線が採用され急速な経済発展が進み、東アジアにおける地位が変化したことを理解する。 ②韓国や台湾の民主化や、北朝鮮の体制、国際社会との関係について理解する。 ③高度経済成長終焉後の日本の状況について、成長する東アジア諸国との関連のなかで考察する。
		①東南アジア諸国の民主化の経過、および日本のPKO活動について理解する。 ②南アフリカのアパルトヘイト政策の内容と撤廃までの経過を理解する。 ③ラテンアメリカ諸国の民主化の経過とアメリカとの関係について理解する。
3月	グローバル化と私たち	①各地域統合の経済的特徴について理解する。 ②ＥＵの成立までの経過と課題について理解する。 ③世界での自由貿易協定（NAFTA・FTA・TPP・WTOなど）の内容と課題について理解する。 ④アジアでの自由貿易協定の動きと日本との関係を理解する。
		①冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 ②紛争の解決に国際機構や日本が果たした役割について理解する。 ③冷戦終結から現代に至るまでの諸課題の形成について整理し、今後の課題解決について考察する。
		①歴史的経緯をふまえて、現代的な諸課題を理解する。 ②諸資料から現代的課題の所在や、それらの原因や背景を分析するための手立てを理解する。 ③現代的諸課題への問題意識をもち、問いを表現できるようにする。
		①歴史的な見方や考え方を生かして、現代的な諸課題を考察する方法を理解する。 ②現在の課題解決や将来を構想するうえで、歴史的な見方・考え方を活用することが有効であることを理解する。 ③現代的諸課題に対して、歴史的な問いを立て、これまでの学習をもとに考察し、表現できるようにする。

ICT 科高校 3 年　科目　ふじのくに研究ｼﾗﾊﾞｽ

授業科目	ふじのくに研究	単位数	２単位	履修形態	必修
履修学年	高校３年　ICT 科	コース	全コース		
教科書			副教材	最新現代社会資料集(第一学習社) 新聞・ニュース時事検定など	
授業概要	静岡県の環境・歴史・観光・企業における魅力や課題について研究する。その研究をもとに地元静岡に対する愛を深める。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	静岡県の環境について	静岡県の環境について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の環境に対する知識・理解を深める。	インターネット 新聞 資料
		静岡県の歴史について	静岡県の歴史について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の歴史に対する知識・理解を深める。	インターネット 新聞 資料
	2学期	静岡県の観光･企業について	静岡県の観光・企業について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の観光・企業に対する知識・理解を深める。	インターネット 新聞 資料
	3学期	静岡県の魅力について まとめレポートを提出。	1～2 学期に行った調査をまとめ、自分なりに静岡県の魅力・課題をまとめ POWERPOINT を作成する。今までの活動の記録をまとめ、レポートで提出。	インターネット 新聞 資料

教　科　　社会　　科　目　ふじのくに研究（英語）

授業科目	ふじのくに研究	単位数	２単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校３年	コース	ICT 科		
教科書		副教材	パンフレット・静岡市観光情報サイト 静岡県観光情報サイト　等		
授業概要	静岡県中部や静岡市各地の史跡や名所について研究する。調べた情報をまとめ、外国人観光客に分かりやすく英語でプレゼンテーションをするために、伝え方を学んだり、英語表現を運用したりする。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	１学期	静岡の史跡・名所研究 パワーポイントを用いて、プレゼンテーションづくり。（日本語）	静岡の史跡・名所について研究する。 調べた史跡・名所を日本語で分かりやすく紹介する。 パワーポイントを用いて、プレゼンで発表する。	各観光地のパンフレットや HP
	２学期	静岡の史跡・名所研究 パワーポイントを用いて、プレゼンテーションづくり。（英語）	調べた静岡の史跡･名所を英語でプレゼンするために英語表現を運用したり、パワーポイントを用いて英語でスライドを作成したりする。また、英語でどのように発表するのかを学ぶ。	各観光地のパンフレットや HP 英和辞典・和英辞典
	３学期	まとめ	２学期で発表した内容をさらに良いプレゼンテーションにするために発表練習をし、改善する。	各観光地のパンフレットや HP 英和辞典・和英辞典

教　科　家庭科　　科　目　ふじのくに研究

授業科目	ふじのくに研究	単位数	２単位	履修形態	選択
履修学年	高校３年　ICT 科	コース			
教科書			副教材		
授業概要	静岡県の食材における魅力や課題について研究し、発表する。その研究をもとに地元静岡に対する愛を深める。 高校生対抗レシピコンテストなどに参加をする。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	静岡県の食材について	グループでテーマを決め、静岡県の食材について魅力・課題を調査し、地元の食材に対する知識・理解を深める。	パソコン インターネット 資料　新聞
		地域の食材を使ったレシピ作り	家族のコミュニケーションを深めるべく共食の推進と、栄養のアンバランスを解消できる食材の使い方を考慮しながら、静岡県産の農作物や魚類、肉類を使用したオリジナルレシピを考える。（鉄板焼甲子園、お魚レシピコンテスト・うまいもん甲子園等参加）	
	2学期	静岡県の食材について	静岡県の食材について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。 テーマの食材を使ったレシピを考える。その栄養価についても深く研究する。調理実習を行う。	パソコン インターネット 資料 新聞
		地域の食材を使ったレシピ作り	家族のコミュニケーションを深めるべく共食の推進と、栄養のアンバランスを解消できる食材の使い方を考慮しながら、静岡県産の農作物や魚類、肉類を使用したオリジナルレシピを考える。（静岡県私学レシピコンテストに参加）	わさび漬け 実習
	3学期	静岡県の食材について まとめレポートを提出。	1～2 学期に行った調査、実習をまとめ、自分なりに静岡県の魅力・課題のプレゼンテーションを行い、互いの発表成果を評価する。今までの活動の記録をまとめる。	発表会

教科…数学、科目…数学演習

授業科目	数学演習	単位数	２単位	履修形態	必修・　選択
履修学年	３年 ICT 科	コース	会計マスターコース、ビジネス進学コース、映像クリエイターコース		
教科書	なし ※参考資料…NEXT 数学 A，Ⅱ		副教材	REPEAT 数学 A 完成ノート【数学と人間の活動】（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ完成ノート【微分法と積分法】（数研出版）	
授業概要	数学演習では、①数学と人間の活動で数学の歴史や日常生活でどのように扱われているかを学び、②微分法と積分法でグラフ化されたものの流れから物事を判断する材料を学びます。高等学校数学における基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な見方や考え方といった数学的素養を身に着けるようにします。				

授業内容および到達目標		単　　元	目　　標	教　材
	１学期	数学と人間の活動 微分法	①　記数法を学ぶ。10 進法でない数を 10 進法に直したり、逆にしたりすることができる。 ②　ユークリッドの互除法を使い、１次不定方程式を解くことができる。 ③　パズルを数学的に解くことができる。 ④　極限を学び，微分係数を理解する。また，関数化した導関数を扱うことができる。微分の法則を学ぶ。	プリント REPEAT 数学 A 完成ノート【数学と人間の活動】 REPEAT 数学Ⅱ完成ノート【微分法と積分法】
	２学期	微分法 積分法	①　関数の増減と導関数の符号の対応関係を理解し，増減表を作ることができる。その上で，極値を学び，３次関数のグラフをかくことができる。 ②　極値に関する与えられた条件から，３次関数を求めることができる。また，高次方程式や不等式を解くことができる。 ③　微分と不定積分が逆演算であることを理解する。不定積分の法則を理解する。 ④　定積分を求めることができる。 ⑤　定積分から面積を求めることができることを理解する。その上で，定積分の性質を理解する。 ⑥　放物線と囲まれた部分の面積を求めることができる。	

	３学期	その他	連続と極限について掘り下げ，それらを理解する。	

令和８年度　理科　シラバス

科目：生物基礎　　単位：　２ 単位　　対象：３年 ICT 科
教科書名：生物基礎(第一学習社)　副教材名：プログレス生物基礎(第一学習社)

１．　教科目標：身の回りの現象を取り上げ科学的な思考力・自然観を身につける。

２．　科目指導目標：身の回りの現象を生物学的に考える能力を身に着ける。
生命や他人、命を尊重する態度や考え方を養う。

３．　学習計画及び評価方法等

学期	学習内容	学習活動
1	1編　生物の特徴 1章　生物の多様性と共通性	・光学顕微鏡で実際に観察し、各部の名称とはたらき，ミクロメーターの使い方と測定方法について理解する。 ・地球上に多様な種がみられるのはなぜか考える。
	第２節　生物とエネルギー	・生活のさまざまな場面や生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・同化や異化の代謝の過程で生じるエネルギーの授受に ATP が利用されていることを理解し、化学反応式で表現する。
	第２章　遺伝子とその働き 第１節　遺伝情報と DNA ・染色体 ・DNA ・遺伝子	・複数の先生の親子写真をもとに，親から受け継ぐものには遺伝するものと遺伝しないものがあることに気づく。 ・エイブリーらの実験，ハーシーとチェイスの実験など DNA の研究史を班で協同してまとめる。
	第２節　遺伝情報とタンパク質の合成 ・酵素の性質	・生のパイナップルを用いて，寒天のゼリーとゼラチンのゼリーがどのように変化するかを観察し，ゼラチンと寒天の主成分の違いから，パイナップルに含まれる酵素の性質を考察する。
2	第３章　ヒトのからだの調節 １節　からだの調節と情報の伝達	・様々な動物の体温と気温の関係のグラフより，ヒトの体温調節機構の特徴を見いだして理解する。 ・死の定義から脳死について理解し、さまざまな立場の人の意見を調べ，自分の考えを深める。
	第２節　免疫 ・免疫と疾病 ・免疫と医療	・４月に扱った細胞の構造を振り返りながら、白血球の特徴を理解する。 ・予防接種のしくみを理解する。 ・自分が乳幼児期に接種したワクチンと感染症について調べ、レポートにまとめる。
3	第４章　生物の多様性と生態系 第１節　植生と遷移 第２節　生態系とその保全	・世界のさまざまな地域の気候と植生の関係を調べ，バイオームが遷移を経て成立していることを見いだして理解する。 ・ラッコの減少を例に生態系の変化を知る。 ・種多様性の高さが生態系全体のバランスを保つことを理解する。 ・オオカミの再導入の例から，生態系の回復について知る。

教　科　保健体育　　科　目　体育

授業科目	体育	単位数	３単位	履修形態	○必修　・　選択
履修学年	高校３年	コース	ICT 科		
教科書	なし		副教材	アクティブスポーツ　大修館書店	
授業概要	自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任などに対する意欲を高め、生涯スポーツの実現を目指す。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。	
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間の状態に気づくことが出来るようにする。	
		新体力テスト	持久走を含む８種目　Ａランクを目標	
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの３泳法の個々の能力に合った目標タイムを設定し記録向上に向けた練習を進める。	
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートの技術向上を図り、より高度な試合展開ができるようにする。	
	2学期	ダンス	創作の質を高め、ダンスの技術の向上と自己表現の楽しさを味わう。	
		器械運動	柔軟性を高め、多様な技を組み合わせた演技をし、成功した時の喜びを味わう。	
		体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。	
		新体力テスト	持久走を含む８種目　Ａランクを目標	
	3学期	サッカー	チームでの連携を図り、より高度な試合展開ができるようにする。	
		武道	相手の動きの変化に応じて、多様な技への連絡を用いて高度な試合展開ができるようにする。	

教科　　音楽

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="2">音楽</td><td colspan="2">履修学年　　高校３年</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="4">高校音楽１教育芸術社</td></tr>
<tr><td rowspan="2">授業概要</td><td colspan="4">曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性</td></tr>
<tr><td colspan="4">について理解するとともに音楽表現に必要な技能を身に付ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">授業内容
および
到達目標</td><td></td><td>単元</td><td>目標</td><td>教材</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1
学
期</td><td>曲想と音楽の構造との関わりを理解して合唱しよう。</td><td>曲想と音楽の構造や歌詞の内容を理解し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。</td><td>校歌</td></tr>
<tr><td>音楽の共通言語を覚えよう。</td><td>音楽を体系的に理解し、音楽表現の方法を学ぶ。</td><td>音楽通論</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2
学
期</td><td>ギターの音色や響きを知り、演奏してみよう。</td><td>ギターの奏法を理解し、それを生かした曲にふさわしい器楽表現を身に付ける。</td><td>ギター</td></tr>
<tr><td>和楽器の音色や響きを知り、演奏してみよう。</td><td>篠笛の奏法を理解し、それを生かした曲にふさわしい器楽表現を身に付ける。</td><td>篠笛</td></tr>
<tr><td>3
学
期</td><td>音色や音の重なり方の特徴を理解しアンサンブルを楽しもう。</td><td>曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。全体の響きや各部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する。</td><td>アンサンブル</td></tr>
</table>

教科　美術

授業科目	美　術		単位数	1単位	履修形態	必修・選択〇
履修学年	高　校　3　年		コース	ICT科　普通科	
教科書	光村図書　美術1			副教材	
授業概要	高校3年生では、日常で活かせる美術を高める鑑賞力や作品作りをしていきます。				
授業内容 および 到達目標		単　元	目　　標	教　　材	
	前期	①美術概論	①1年間の美術の流れを知る。		
		②木彫時計 （彫刻　デザイン）	①創造性のあるデザインを考える。 ②彫刻刀と木の特徴を活かしながら丁寧に彫る。	木彫時計 彫刻刀	
		③木彫時計　色付け （デザイン　構成）	①アクリル絵の具で色付けをする。 ②丁寧に制作し完成度を高める。	アクリル絵の具 ニス	
	後期	②漆箸 （工芸　鑑賞）	①和柄模様のデザインを考える。 ②漆の特性を知り日本の伝統に触れる。 ③クラスの作品を鑑賞し作品の良さを味わう。	漆箸 色漆 筆	
		④静物デッサン （素描　構成）	①物をよく観察し、描写技能を育てる。 ②形や陰影を意識する。	スケッチブック 鉛筆	
		⑤藍染 （工芸）	①藍の特性を知り日本の伝統に触れる。 ②クラスの作品を鑑賞し作品の良さを味わう。	藍染 ハンカチ	

教　科　芸術　　科　目　書道

授業科目	書道Ⅰ	単位数	１単位	履修形態	必修　・　選択
履修学年	高校３年	コース	全コース		
教科書	東京書籍書道Ⅰ		副教材		
授業概要	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

		単　元	目　　標	教　材
授業内容 および 到達目標	1 学 期	漢字の書 草書	・草書が成立する過程や草書の特徴について理解する。 ・「真草千字文」を鑑賞し、その美について理解する。 ・「真草千字文」の臨書を通して、草書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。	草書の特徴 「真草千字文」
		漢字の書 隷書	・隷書が成立する過程や隷書の特徴について理解する。 ・「曹全碑」を鑑賞し、その美について理解する。 ・「曹全碑」の臨書を通して、隷書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。	隷書の特徴 「曹全碑」
		漢字の書 篆書	・篆書が成立する過程や篆書の特徴について理解する。 ・「泰山刻石」を鑑賞し、その美について理解する。 ・「泰山刻石」の臨書を通して、篆書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。	篆書の特徴 コラム：始皇帝と文字 「泰山刻石」
	2 学 期	仮名の書	・仮名の成立と変遷について理解する。	仮名の成立
			・仮名の用具・用材の特徴について理解する。 ・仮名の基本的な線について理解し、練習する。 ・平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。 ・変体仮名について理解し、練習する。 ・連綿について理解し、練習する	仮名を書く準備 平仮名の単体 変体仮名 連綿
		漢字仮名交じり書 創作	・創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、意図に基づいて創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。	創作 言葉と書を調和させよう 鑑賞 書の美や風趣を味わおう
	3 学 期	実用書 生活に広げる	・便箋や封筒の宛名、履歴書など、改まった場面で使われる書式について理解し、場面に応じて書く。 ・はがきやカードなど、身近な場面で気持ちを伝えるために書くものについて理解し、自分たちの創意を生かして書く。 ・街中や身近な生活の中で生かされている書を探し、自分たちの生活でどのように生かすことができるかについて考える。 ・著作権について理解する。	生活に広げる コラム：著作権

教　科　外国語　　科　目　英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ

授業科目	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	単位数	2 単位	履修形態	必修・　選択
履修学年	高校 3 年　ICT 科	コース	会計マスターコース		
教科書	なし		副教材	Weblio Study、各検定過去問	
授業概要	実用英語技能検定 2 級・準 2 級ﾌﾟﾗｽ・準 2 級や、全商英語検定 1 級・２級の取得を目指す。 プレゼンテーションを通して、情報を発信する力を身に付けることができる。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	実用英語検定対策 全商英語検定対策	各種検定の上級合格を目指す。 語彙力、読解力、速読力、推測力、リスニング力を身に付ける。	各種検定過去問 Weblio Study
	2学期	全商英語検定対策 プレゼンテーション発表	各種検定の上級合格を目指す。 語彙力、読解力、速読力、推測力、リスニング力を身に付ける。 分かりやすい内容で図やイラストを使い見やすいパワーポイントを作成できる。	各種検定過去問 Weblio Study
	3学期	プレゼンテーション発表	プレゼンテーションを行い、分かりやすい英語や自分の文章で考えを発信する力を身に付ける。	Weblio Study

教　科　外国語　　科　目　論理表現Ⅰ

授業科目	論理表現Ⅰ	単位数	2 単位	履修形態	必修・　選択
履修学年	高校 3 年　ICT 科	コース	会計マスターコース		
教科書	Logical English Reading Level1	副教材	Weblio Study		
授業概要	問題演習を行い、自らの意見を論理的に伝えることができる。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	01 Should homework be banned? 02 Should smartphones be banned in schools? 03 Should high school students be allowed to have a part-time job? 04 Should national and public colleges be free? 05 Should all Internet users use their real names on social media?	AREA の型に基づいて自らの意見を論理的に伝えることができる。	Logical English Reading Level1 Weblio Study
	2学期	06 Do online games do more harm than good? 07 Is online education better than offline education? 08 Should Japanese high school students study abroad?	AREA の型に基づいて自らの意見を論理的に伝えることができる。	Logical English Reading Level1 Weblio Study
	3学期	ライティング復習	AREA の型に基づいて自らの意見を論理的に伝えることができる。	Logical English Reading Level1 Weblio Study

教　科　　商　業　　科　目　　課題研究

授業科目	課題研究	単位数	４単位	履修形態	必修・　選択
履修学年	３年	科	ＩＣＴ科会計マスターコース		
教科書	日商簿記１級テキスト(立志舎)		副教材	模擬問題(立志舎) 全商検定問題集(実教出版)	
授業概要	簿記研究・ビジネス文書研究・情報処理研究・経営研究・進路研究				

		単　元	目　　標	教　材
授業内容 および 到達目標	1 学 期	簿記研究	正確な原価計算を身につける 様々な意思決定方法の確認 全経簿記検定に挑戦	模擬問題 過去問題
		ビジネス文書研究	表と図の挿入・文書の種類と作成 校正記号の読み取り 全商ビジネス文書検定に挑戦	模擬問題集
	2 学 期	情報処理研究	アルゴリズムの流れを身につける マクロ言語の読み取りと作成 全商情報処理検定に挑戦	模擬問題集
		経営研究	財務諸表作成と分析を身につける 戦略的原価計算の知識を習得 財務分析検定と管理会計検定に挑戦	模擬問題 過去問題
	3 学 期	研究発表	年間を通して学んだ研究内容をまとめる 研究内容を発表する	

教　科　　商　業　　科　目　　会計演習

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="2">会計演習</td><td>単位数</td><td>３単位</td><td>履修形態</td><td>必修・　選択</td></tr>
<tr><td>履修学年</td><td colspan="2">３年</td><td>科</td><td colspan="3">ＩＣＴ科会計マスターコース</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="3">日商簿記１級テキスト(立志舎)</td><td>副教材</td><td colspan="2">模擬問題(立志舎)・MESE
全商検定問題集(実教出版)</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="6">簿記研究・経営学研究・進路研究</td></tr>
<tr><td rowspan="6">授業内容
および
到達目標</td><td></td><td>単　元</td><td colspan="2">目　　標</td><td colspan="2">教　材</td></tr>
<tr><td>1
学
期</td><td>会計研究</td><td colspan="2">財務諸表の作成
財務諸表から経営分析と企業評価
会計処理と会計用語の確認
全経簿記検定に挑戦</td><td colspan="2">模擬問題
過去問題</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2
学
期</td><td>会計研究</td><td colspan="2">連結財務諸表の作成
財務会計検定に挑戦</td><td colspan="2">模擬問題
過去問題</td></tr>
<tr><td>経営研究</td><td colspan="2">財務諸表から得られる情報整理
市場分析と意思決定に挑戦</td><td colspan="2">MESE</td></tr>
<tr><td>電子会計研究</td><td colspan="2">会計ソフトの操作を身につける
証憑から仕訳を切る</td><td colspan="2">模擬問題集</td></tr>
<tr><td>3
学
期</td><td>電子会計研究</td><td colspan="2">会計ソフトと会計処理の知識の習得
資金繰り表の読み取り
電子会計検定に挑戦</td><td colspan="2">模擬問題</td></tr>
</table>

教　科　商業　　科　目　まなびや研究

授業科目	まなびや研究	単位数	２単位	履修形態	必修　・　選択
履修学年	高校３年　ICT 科会計マスターコース				
教科書			副教材	まなびやマニュアル	
授業概要	『高校生が創り運営するオンラインショッピングモールまなびや』の運営を行う授業である。担当企業様に連絡を取り、商品や広告の情報を提供していただきページを作成する。また、担当企業様とコラボレーションをして新商品の開発にも力を入れている。 参加企業を増やすため、飛び込み営業を行い説明会の開催や、1 年間の活動を報告する報告会を行う授業である。				

		単　元	目　　標	教　材
授業内容 および 到達目標	1学期	新年度の挨拶	新規企業担当者を決定させ、新年度のご挨拶をメールまたは電話で行う。	マニュアル
		まなびや基礎	まなびやの歴史や仕組みについて理解し、説明できるようにする。 フォトショップと管理サイトの使い方を学び、ホームページ編集の仕方を学ぶ。	マニュアル
		新規企業開拓	まなびやへの加入していない企業を対象に説明会を開催する。企業訪問などの実践的な営業活動を通じてビジネスマナーの向上を目指す。	マニュアル
	2学期	新商品登録 営業活動	担当企業様に訪問し新商品の情報やニュースがないか打合せを行う。実践からビジネスマナーを身につける。	マニュアル
		しんきんフェア 静岡を観る まなぐる	しずおか焼津信用金庫が主催するしんきんフェアに参加する。企業と商談をし、実社会で通用する力を身に付ける。	マニュアル
		報告会	１年間の活動を参加企業に対して報告しプレゼンテーション能力や実践的な活動を通じ、おもてなしの心を学ぶ。	マニュアル
	3学期	引継ぎ	業務内容を後輩へ引き継げるように仕事やフォルダの整理を行い、担当企業に連絡。	マニュアル